令和８年度　第1回　東陽中学校運営協議会　会議録（要点記録）

1　開催日時　令和８年　5月22日（金）　14時00分～15時30分

2　開催場所　東陽中学校会議室

3　出席委員　大橋　美義、山田　玲子、小田　明美、飯塚　正師、中村　健二、袴田　伯領

4　欠席委員　中津川　隆久

5　ｵﾌﾞｻﾞｰﾊﾞｰ　袴田　唯之（南陽協働センター）

6　学　　校　中野　敬之（校長）、神村　由貴子（教頭）、柏木　直人（教務主任）、髙橋　聡（生徒指導）
　　小杉　理沙（CS ディレクター）

7　傍聴者　なし

8　会議録作成者　CS ディレクター　小杉　理沙

9　会長の選出及び副会長の指名
　司会から大橋委員に会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された大橋委員から、小田委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10　議長の選出
　司会から議長の選出について意見を求めたところ、大橋委員から１回目は自分が務める旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。

11　協議事項
（1）令和８年度学校運営の基本方針について
（2）今年度の見通し（昨年度の評価より　職場体験・部活動・不登校支援・働き方改革）
（3）いじめ防止基本方針について
（4）「夢育やらまいか CS 加算分についての意見書」について

12　会議記録
　司会の大橋会長から、委員総数７名のうち６名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）令和８年度学校運営の基本方針について（別紙参照）
　議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。
・先生の全体数が少なく、級外の先生がいないため、融通が利きにくいという苦しさがある。大規模校には先生の数に余裕があるが、小規模校だとなかなか難しい。（大橋会長）
・学校運営の基本方針について、どのように・どのくらいの頻度で先生たちに発信しているのか。１年に１度では忘れてしまうのでは。良い内容なので、保護者にも発信したら学校の教育に対する考え方が分かって良いのでは。（飯塚委員）

・地域のみなさんの学校への関与が、小学校に比べると中学校は難しいのではないか。学校側がどれだけ開けるか、学校にある壁をどれだけ取り払えるのかが今後の課題ではないか。（大橋会長）
・信頼関係を築くために、丁寧に話を聞くとあるが、いつ・どのような時にしているのか。何か問題があった生徒に対して話を聞くようにしているのか、常にいろんな生徒に平等に聞くようにしているのか。（山田委員）
・丁寧に話を聞くことに関して、生活アンケートでは 4 段階中 3.5 くらいの評価だった。毎日日記を書いてもらっていて、そこで子どもの考えや困っていることを確認することができる。（校長）
・先生の人数も少なく、時間的にも気持ち的にも余裕がないと、丁寧に話を聞くことは難しいのではないか。信頼関係を築くのは、少しのことですぐ壊れてしまうこともあるが、一番根っこになる部分のため大事だと思う。（小田委員）
・若い世代は褒められて育てられていて、良い面もあるが、逆に打たれ弱いというところもある。教育の中にメンタル教育も取り入れてもらいたい。褒めるだけではなく、教育の場で失敗や傷つくことを学ぶという機会があると良い。外部講師を呼んで、成功談・失敗談を講演してもらってみては。（飯塚委員）
・スキル支援に関して、小学校の方の支援はある程度人数がいるため、中学校の方にも来てもらえないか声をかけてみてはどうか。支援が必要ということをどんどん発信していくべきである。（大橋会長）
・働き方改革について、時間がないことが一番の問題になっているのではないか。学校で変えられることは変えていき、変えられないことは外部へ意見書を出すなどもっと発信してみては。電話の自動音声化も時間をはっきりと決めてしまって良いのでは。（飯塚委員）
・アニバーサリー休暇について、まずは管理職の方に率先して早めに取得してもらい、他の教員も続いてもらいたい。（大橋会長）

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

（2）今年度の見通し（昨年度の評価より　職場体験・部活動・不登校支援・働き方改革）

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき説明があり、委員会からは以下の発言があった。

・部活動の地域展開について、まだ分からないまま時間が経ってしまったところがある。（大橋会長）
・昨年度 2 月に全体に向けて部活動についての保護者会を行っており、今月には部活動単位でより詳しい内容の保護者会を予定している。市の HP に特設サイトがあり、さくら連絡網でも発信されているので確認してもらいたい。（教頭）

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

（3）いじめ防止基本方針について

議長の指示により、生徒指導主事の髙橋教諭から、別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

・実際に前年度、学校が認知したいじめと思われる事案は何件か。また、その程度は。（大橋会長）
・前年度は 39 件あり、軽度のものがほとんどで、重大事案は発生していない。アンケートをもとに把握することが多い。問題解決をした後も、3カ月は見守るようにしている。いじめの事実確認が難しく、解決していない事案もあるが、注意深く経過を観察するようにしている。（髙橋）

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

（3）「夢育やらまいか CS 加算分についての意見書」について

・加算分として 6 万円分追加がある。使い道として、職場体験の充実を計るための外部講師への謝礼や、SDGsに関する図書の購入、部活動支援に使っていく予定。（教頭）

その他連絡事項

司会から、次回会議は 7 月 7 日（火）14時から2F 会議室で開催する旨の報告があった。